

今年も、地域と
ともに1歩前へ...

「二小の子どもを育てる会」 「コミュニティ・スクール」

新年の抱負

子どもは地域の宝！今年も地域のみなさんの応援をおねがいします。

学習支援力を高めまます

西伯小学校地域協働学校運営協議会

会長 原 和正

西伯小学校の地域協働学校も間もなく4年目を迎えるうとしています。学校、家庭、地域で子どもに関わるキーワードとして、挨拶・読書・働く・遊びを取り上げ、各々の部で取り組んできました。地域の多くのボランティアに支えられ、着実に成果が上がってきたと思います。学校の授業も総合学習などで多様化してきています。そこで今年は、地域の方の力を継続して活かして行く為に、学習支援部の創設に取り組みたいと思います。

すべては子どもたちのために

会見小学校地域協働学校運営協議会

会長 小林 太治

この度、コミュニティ・スクールの活動に対して文部科学大臣表彰を受けました。これは一重に、地域の皆様のお力添えあつての受賞だと感謝しております。学校へ行きますと、学校全体に活気や温かさを感じます。会見の児童は「人なつこくで、明るい」との声をよく聞きます。家庭での賤や地域の皆様の関わりの中で、学校では落ち着いて、集中して勉強をしています。今後とも引き続き皆様のお力添えをいただき、郷土を愛する会見っ子を育てていきましよう。



育てる会への思い

二小の子どもを育てる会

会長 野口 幹也

今年で会長として2年目を迎え、諸先生方、会の役員、校区の皆様を支えられてこれまで進めてこられたと感謝しています。これまでもこれから、大人の視線でなく、子どもたちの目線で取り組みが出来れば良いと考えています。実際には新たな取り組みが必要かもしれませんが、会の出来た経緯から考えると、現状を維持することの大切さを改めて感じています。継続することにより、子どもたちの自主性の向上などに関わる事が一番だと感じています。

生き生きとした子どもたちと出会いたい

南部中学校地域協働学校運営協議会

会長 小川 優

「南部中の生徒が変わったねえ」と、うれしい声が届きました。体育祭・文化祭・ふれ愛デー等の活動から、生徒の『心の成長』が見えてきました。これは全ての先生方がコミュニティ・スクールと協働して、生徒の成長を支援されたからです。コミュニティ・スクールと先生方との交流会での熱い議論は、大きな力となりました。『学校も先生方も変わる、地域も変われば生徒が変わる』が実感できた一年でした。今後も南部中の教育活動を、全力で応援していきます。

思いやりのある 元気な ジゲの子になろう

法勝寺中学校地域協働学校運営協議会

会長 長門 隆史

法勝寺中学校は、昨年12月に「コミュニティ・スクール」に指定されました。「見守り」「学習支援」「環境美化」「地域連携」4つの活動を通して子どもたちと関わっています。「無理をしない、強制をしない、また参加したい」そんな関わりを目指しています。地域の力を学校へ！学校から地域へ子どもたちの笑顔！元気なジゲの子どもが育てば町が元気になります！元気な子どもが育つ喜びを地域の皆で分かち合おうではありませんか！

